

南ア月報
(2020年11月)

【内政】

- 野党民主同盟 (DA) 新党首の選出
- 全ての国からの渡航の再開 (ロックダウン警戒レベル1 継続)
- マハシューレ与党ANC事務局長への逮捕状発出

【外政】

- マダフリ・タンザニア大統領の再選に関する大統領府声明
- バイデン氏の米国大統領選出に関するラマポーザ大統領の祝辞
- 西サハラの状況に関する大統領府声明
- ウワタラ氏のコートジボワール大統領選出に関する祝辞
- ラマポーザ大統領とバイデン次期米国大統領の電話会談
- ラマポーザ大統領の BRICS テレビ首脳会議出席
- ラマポーザ大統領の G20 ヴァーチャルサミット出席
- サヘレウォルク・エチオピア大統領の南ア訪問
- AU 特使のエチオピア訪問

【経済】

< 経済指標 >

- 消費者物価指数
- 為替レート
- 製造業生産高
- 鉱業生産高
- 失業率

< 出来事 >

- 第3回南ア投資会議の開催
- 米格付け機関による南ア・ソブリン債の信用格付け見直し

【広報・文化】

- ラフカディオ・ハーンをテーマとしたウェビナーの実施

【警備】

- 南ア治安情勢 (タクシー標的とした犯罪の多発)

1 内政

●野党民主同盟 (DA) 新党首の選出

10月31日～11月1日、野党第一党 DA (Democratic Alliance、民主連合) の党大会 (Federal Congress) 及び党首選挙がオンライン形式で開催され、現党首代行のステーンファイセン (Mr. John Steenhuisen) 氏 (白人) が新党首として選出された。

就任演説においてステーンファイセン氏は、DA が私のリーダーシップの下で提供するもの、それは民衆の力 (people power) である。DA 政府は国家統制を民衆の力に置き換える旨述べた。

●全ての国からの渡航の再開 (ロックダウン警戒レベル1 継続)

11日、ラマポーザ大統領は演説を行い、アルコール販売曜日・時間制限の解除及び全ての国からの海外渡航の再開等を発表した。

また、国家的災害事態 (the national state of disaster) の1ヵ月延長 (12月15日まで) を発表した。

●マハシュウレ与党ANC事務局長への逮捕状発出

10日、マハシュウレANC事務局長に対し自由州知事時代の汚職容疑等に係る逮捕状が発出され、13日、同事務局長はブルームフォンテン地方裁判所に出廷し、20万ランドを支払い保釈が認められた。同裁判所前には支持者が参集し、さらに党内からボンゴ元国家安全保障大臣、ギガバ元財務大臣、イェンゲニ全国執行委員、マフマペロ元北西州首相、マスワングニ元運輸大臣、マシナ・エクルレニ市長、マベANC報道官等が同氏への支持を表明した。なお、次回出廷は2月とされている。

2 外政

●マグフリ・タンザニア大統領の再選に関する大統領府声明

3日、南ア大統領府は、AU議長のラマポーザ大統領がタンザニア大統領選挙で選出されたマグフリ博士に祝意を伝えたことに関する声明を発出した。ラマポーザ大統領は、民主主義の原則の尊重と平和的な選挙の実施に関し、タンザニア国民を祝福し、南アとタンザニアの間の強く緊密な二国間関係を強化し、SADC 地域、アフリカ大陸及び世界全体における相互の利益に関わる諸問題に関しマグフリ博士と協力することを心待ちにしていると述べた。

●バイデン氏の米国大統領選出に関するラマポーザ大統領の祝辞

8日、ラマポーザ大統領は、米国大統領選挙に関し、バイデン候補に対し祝辞を発出した。ラマポーザ大統領は、南アと米国は歴史的な関係を持っており、米国は、南アの解放闘争に貢献し、1994年に最初の民主的選挙が行われた後も南アの民主主義強化を助けるために支援を行ってきた旨述べた。同大統領は、気候変動、人権、平和、安全保障、テロリズム、原子力安全、貧困対策、低開発、経済回復、包摂的成長等の世界的課題への対応や将来的なパンデミックの防止といった多国間の文脈における協力関係強化を含む、両国及び両国民の友好協力関係の更なる発展のために、南アがバイデン次期大統領及びハリス次期副大統領と協力することを楽しみにしていると述べた。

●西サハラの状態に関する大統領府声明

12日、南ア大統領府は、「AU議長は、サハラウィとモロッコの間での平静を呼びかける (AU Chair calls for calm between Sarahawi and Morocco)」と題された声明を発出し、緩衝地帯における争いに起因する西サハラとモロッコの間での緊張が高まっていることに留意し

ていることを述べた。同大統領は、全ての当事者に対し、停戦、及び西サハラの人々が民族自決権を執行するための住民投票を規定する和平プランを支持するよう求めた。また、同大統領は、緊張の根本的な原因に対処し、地域における持続的平和の実現を可能にするために、国連事務総長に対し、至急西サハラ特使を指名することを訴えた。

●ウワタラ氏のコートジボワール大統領選出に関する祝辞

12日、南ア大統領府は、ウワタラ氏のコートジボワール大統領選出を祝福する旨の声明を発出した。AU議長も務めるラマポーザ大統領は、2020年11月9日にコートジボワールの憲法裁判所がウワタラ氏を2020年10月31日に行われた大統領選挙の勝者、及び正当に選出されたコートジボワール共和国の大統領として認定したこと、及び大統領選挙が問題なく行われたと宣言したECOWAS（西アフリカ諸国経済共同体）選挙監視団及びAUEOM（アフリカ連合選挙監視団）の声明に留意した。

●ラマポーザ大統領とバイデン次期米国大統領の電話会談

17日、ラマポーザ大統領は、ジョー・バイデン次期米国大統領と電話会談を行った。ラマポーザ大統領は、国際関係における平和と安定の促進及びマルチラテラリズムの推進に関し、米国とアフリカ大陸の間の緊密な協力を望んでいる旨伝えた。また、両指導者は、米アフリカ関係を強化し、COVID-19のパンデミックを克服する方法に関し話し合った。さらに、両指導者は、バイデン次期大統領がアパルトヘイトの暗い時代に南アを訪問し、全ての南ア人の人権と尊厳のためのコミットメントを表明したことを想起した。

●ラマポーザ大統領のBRICSテレビ首脳会議出席

17日、ラマポーザ大統領は、テレビ会議形式で行われたBRICS首脳会議に出席した。ラマポーザ大統領は、グテーレス事務総長によるグローバル・ニューディールへの訴えを支持した。同大統領は、このグローバル・ニューディールの精神の下、国際社会及びBRICS諸国に対し、アフリカ諸国の包括的刺激策を支援するよう呼びかけた。また、同大統領は、新開発銀行が危機対策関連や経済回復支援のために最大100億ドルの支援を目指していることを歓迎し、2018年のヨハネスブルグ宣言で合意されたBRICSワクチン研究開発センターの設立を急ぐ必要性を訴え、BRIC諸国に対し、特に製造業の分野で、南アのみならずアフリカ全体への投資を増やすことを求めた。同時に、同大統領は、国連安保理及びWTOの改革を訴えた。

●ラマポーザ大統領のG20ヴァーチャルサミット出席

ラマポーザ大統領は、21日に行われたG20ヴァーチャルサミットのパンデミック対応に関するサイドイベント及び22日に行われた本会合に出席した。パンデミック対応に関するサイドイベントにおいて、ラマポーザ大統領は、アフリカの経済回復のためにG20、国際的なパートナー及び国際金融機関がアフリカ諸国と協力することを訴えた。22日に行われた本会合において、ラマポーザ大統領は、発展途上のアフリカ諸国や島嶼国におけるCovid-19対策と経済回復計画へのG20の支援を優先課題に設定した議長国サウジアラビアへの感謝を表明した。また、ラマポーザ大統領は、環境悪化から社会及び地球を守るためことへのコミットメントを確認し、サウジアラビアがG20に導入した循環型炭素経済アプローチを歓迎した。

●サヘレウォルク・エチオピア大統領の南ア訪問

21日、AU議長のラマポーザ大統領は、アビィ・エチオピア大統領の特使として南アを訪問したサヘレウォルク・エチオピア大統領と会談した。サヘレウォルク大統領はラマポーザ大統領にティグライと連邦軍の間の衝突について状況を説明した。

ラマポーザ大統領は、サヘレウォルク大統領に対し、AU議長として、3名の卓越した政治家であるシサノ元モザンビーク大統領、ジョンソン・サーリーフ元リベリア大統領及びモトランテ元南ア大統領をAU特使に指名したことを伝えた。特使たちは、兄弟であるエチオピア連邦の紛争における当事者間の調停を支援するために同国に赴く予定である。

●AU特使のエチオピア訪問

エチオピアへのAU特使であるシサノ元モザンビーク大統領、ジョンソン・サーリーフ元リベリア大統領及びモトランテ元南ア大統領は、25日から27日までエチオピアを訪問した。AU特使たちは、困難な時にエチオピアを支援しようとするAU議長のラマポーザ大統領によるイニシアティブを歓迎するアビー首相に迎えられた。アビー首相は、対話へのコミットメントを確認した。AU特使たちは、サヘレウォルク大統領やティグライ州の複数政党暫定政府とも会談した。複数政党暫定政府は、AU特使たちに状況を説明した。ラマポーザ大統領は、現在のエチオピアの安全保障上の課題を通じ、同国国民及び政府と協力を続けることへの大統領自身及びAUのコミットメントを確認した。

3 経済

<経済指標>

●消費者物価指数

2020年10月の消費者物価指数(CPI)は、前月に比べ0.3%上昇した。年間消費者物価インフレーション率は3.3%と、前月に比べ0.3%上昇した。(南ア統計局、11月25日)

●為替レート

2020年11月30日付(南ア準備銀行)

6.8174 ランド/円

15.2823 ランド/米ドル

18.3067 ランド/ユーロ

●製造業生産高

2020年9月の製造業は、前年同月比2.6%減。主なマイナス要因は、鉄鋼、非金属製品、金属製品及び機械で7.5%減、自動車及び輸送機器関連製品で12.7%減、木材及び木材製品、紙、出版及び印刷で7.7%減、石油、化学製品、ゴム、プラスチック製品で1.9%減。また第3四半期(7月～9月)の季節調節後生産高は第2四半期(4月～6月)の3ヵ月から32.9%増となった。(南ア統計局、11月10日)

●鉱業生産高

2020年9月の鉱業生産高は、前年同月比2.8%減。主なマイナス要因は、鉄鉱石で30.5%減、クロム鉱石で13.2%減。また第3四半期（7月～9月）の季節調節後生産高は第2四半期（4月～6月）の3ヵ月から40.6%増となった。（南ア統計局、11月12日）

●失業率

南ア統計局は2020年第3四半期の失業率を30.8%と発表。2008年の調査以来、最も高い数字であった。2020年第2四半期よりも就業者数は54万人増加、失業者数は220万人増加、求職活動を含む経済的活動を行っていない「経済的非活動者（not economically active）」の数は260万人減少。第2四半期において、厳格なロックダウン措置のため、求職活動自体が不可能な状況に置かれたために、失職中にもかかわらず「失業者」ではなく「経済的非活動者」としてカウントされていた者が増えていたところ、今期においては、経済的非活動者がロックダウンの緩和を受けて求職活動を再開し、失業者としてカウントされるケースが増加。

<出来事>

●第3回南ア投資会議の開催

17、18日に南ア政府は第3回投資会議をオンラインで開催。ラマポーザ大統領は、新型コロナウイルスにおける国内経済への影響、また経済再建及び回復が最優先事項であることを強調。2018年に宣言した1兆2,000億ランドのうち、6,640億ランドの投資が既に約束されており、良好なインフラ環境、産業の多角化が進んでいることなどを引き合いに出し南アの競争優位性を訴えた。

●米格付け機関による南ア・ソブリン債の信用格付け見直し

20日、米の三大信用格付け機関が南ア・ソブリン債の格付けをそれぞれ、Moody's（Ba1からBa2）、Fitch（BBからBB-）に引き下げ、またS&Pは据え置いた。格下げを行なったMoody's及びFitchは格下げの理由を、累積公的債務及び借り入れコストの増加を例に挙げ、南ア経済の見通しを「ネガティブ」に設定。一方で、格付けを据え置いたS&Pは、信頼できる中央銀行、変動相場制、活発に取引されている通貨、確固とした資本市場を理由に挙げ、南ア経済の見通しを「安定」とした。

4 広報・文化

●ラフカディオ・ハーンをテーマとしたウェビナーの実施

28日、当館及びプレトリア大学日本研究センターの共催により、小泉凡島根県立大学短期大学部名誉教授及びアントニー・ゴデハウスプレトリア大学講師による講演会をオンラインで実施した。講演会では、小泉教授より、ラフカディオ・ハーンの生涯とその精神性についての紹介があった後、ゴデハウス講師より、自身の著書からの引用を通して、ハーンが西欧の仏教観に与えた影響についての説明があった。その後、参加者からハーンや仏教に関する複数の質問があり、活発な議論が行われた。

5 警備

●南ア治安情勢（タクシー標的とした犯罪の多発）

18日、National Taxi Alliance が苦情申し立てのための抗議行動として各地からプレトリア市内にタクシー（ミニバス）が集結したが、その過程において、無関係の通行車両を攻撃する、バスを強奪する、トラックを強奪するなどの犯罪行為が見られた他、各所で道路封鎖が行われ、交通網へ多大な影響を及ぼした。

抗議行動は、些細な事をきっかけとして暴徒化する可能性があるため、平穏に行われている場合であっても、報道等で最新の情報を入手し、抗議行動が行われている場所には近付かないなど、自身の安全を確保する必要がある。